

堺市のがん検診受診率向上強化 への取り組み状況について

1 がん検診受診率向上強化へ取り組み経過

堺市におけるがん検診受診率及び精密検査受診率の向上と、医療費の削減及び死亡率の減少を達成するため、より効率的かつ効果的に、それぞれの組織の業務連携によるがん受診率向上に関連する取り組みを集中する事業を展開する。

事業イメージ

これまでの課題：それぞれの組織でがんに関する取り組みを行ってきたが、多くの事業で連携が取れずそれぞれに取り組みされており、受診につながる効果的な啓発等が行えていなかった。

①堺市、保健センター

これまでの主な取り組み

- ・イベントや地域へ出向いてのがん予防啓発の実施
- ・乳幼児健診等での禁煙指導、受動喫煙防止啓発
- ・各種がん検診の実施(集団・個別)
- ・健康づくり自主活動グループ育成
- ・地域がんサロンの開催
- ・小、中学校でのがん教育

③患者会など

これまでの主な取り組み

- ・がん患者会の会報誌の作成、講演会、交流会の開催
- ・店舗などによるがん関連事業啓発の実施、従業員への検診受診勧奨
- ・受動喫煙防止のための取り組み(店舗内、事務所内)

②がん診療拠点病院、地域医療機関

これまでの主な取り組み

- ・がん検診の実施、受診啓発、がん登録事業への協力
- ・緩和ケアの啓発、在宅緩和ケアマップの作成
- ・地域連携パスの導入実績の向上
- ・標準的ながん医療を受療できる体制の充実
- ・情報提供・相談支援機能の強化し、こころのケア、就労支援を充実

強 化 事 業

- ・検診台帳の作成と未受診者への勧奨と要精密検査者の追跡と管理【①、②】
→対象者名簿を作成、啓発パンフレット等の改良
- ・小、中学校でのがん教育の実施【①②③④】
→医師、看護師、がん経験者などによる授業と保護者への啓発
- ・医療機関、地域などとの連携【①②③④】
→保健センターを中心とした地域が一体となった啓発を実施

④学校、地域など

これまでの主な取り組み

- ・小6、中3でのがん教育の実施
- ・地域活動での健康づくりに関する活動実施

がん検診受診率向上強化への取り組み

検診台帳の作成と台帳を活用した勧奨【健康医療推進課、保健センター】

- 住民情報と健康情報のデータを組み合わせ、検診台帳を作成。
- 検診台帳を活用し、受診勧奨対象者の優先付けを行う。【過去5年間に1度しか受診していない者等を優先し勧奨】
- 実施した実績を入力し、事業実施評価の際に集積したデータを分析する。

住民基本情報



堺市保健衛生情報システム
(がん検診の受診歴などを管理)

検診台帳(2か月毎に情報を更新)を作成【健康医療推進課】
主な項目:氏名、性別、年齢、住所、過去のがん検診受診状況(精密検査受診状況を含む)、保健センターの健康教育等への参加状況、市民税の納付方法など

平成28年	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健康医療 推進課	・検診台帳作成 検診歴、年齢、性別などの 情報を基に勧奨優先順位付 け(不定期受診の者など)		・勧奨通知 発送			
保健セン ター				・個別訪問による受診確認・未受診勧奨 ・精密検査未受診者への訪問		

受診状況等の記録をシステムへ入力

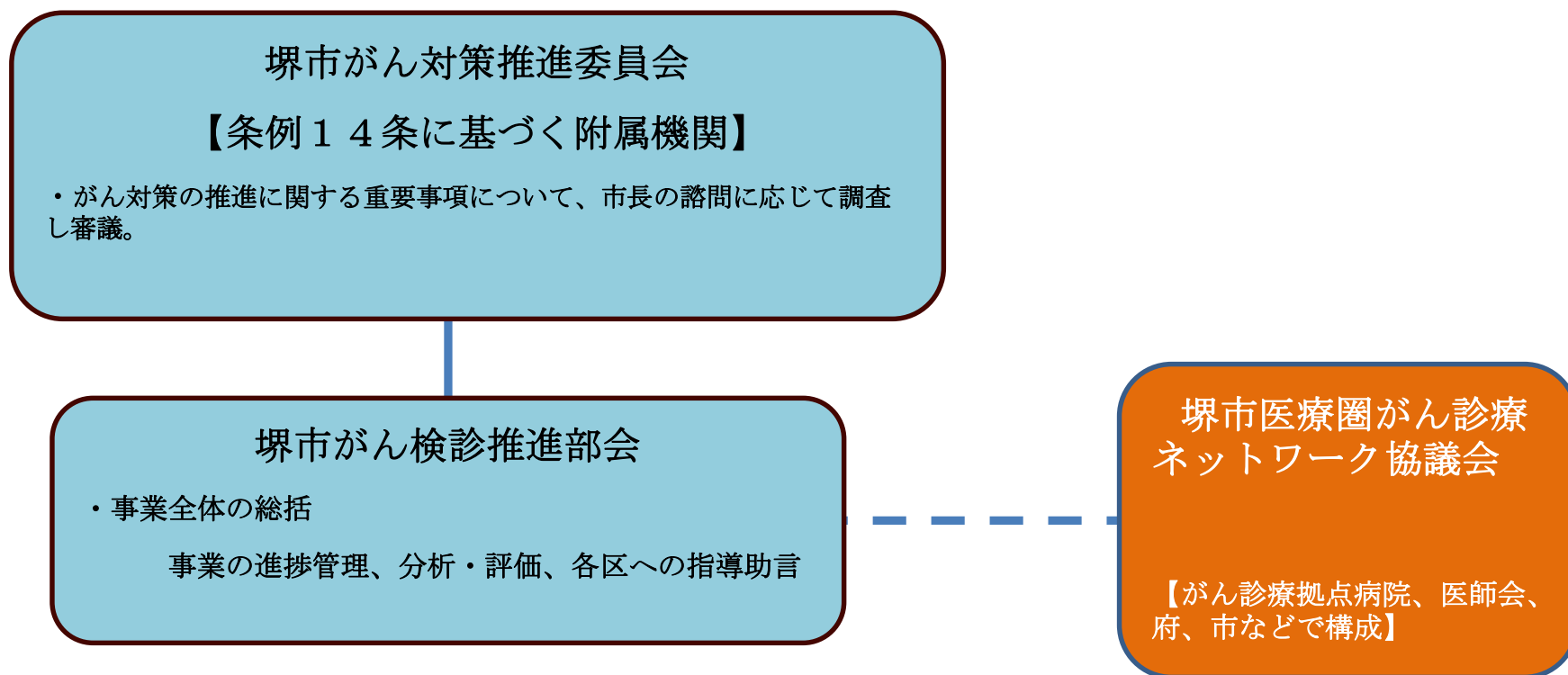
がん検診受診率向上強化への取り組み

がん検診推進部会の設置

堺市がん対策推進委員会の答申後、市が企画立案した事業をより一層効果的に実施するため、がんに関する予防知識の普及と検診の受診促進、検診制度に関して、専門的見地から助言を得ること及び関係機関同士の連携強化を目的として設置。

平成28年11月9日 堺市がん対策推進委員会において部会の設置を承認

平成28年11月30日 がん検診推進部会 開催 【市の取組みに対しての助言をいただく】



2 先行取り組みの成果について

先行取り組みの成果

啓発活動の実績

先行取り組みは、がん診療拠点病院が存在する3区（中、西、北）の小中学校区を中心に実施

- 各保健センターの保健師等による地域に出向いた健康教育の実施
地域の老人会、子育てサークル、小中学校など
- NPO法人ピンクケアブレストと連携した啓発
乳がん体験者による講演会、相談会の実施
NPO法人による普及啓発活動
- 拠点病院と保健センターの連携によるイベントや健康教育
イベント・医師による講演会、出前講座など

種別	H29年4月以降 全市（暫定数）	H28年度	H27年度
回数	2 2 8 （H30.1まで）	1 5 4	1 1 9
対象者数	6,5 9 3 （H30.1まで）	5,799	3,650

啓発活動については、より効果を引き出すため、選択と集中による啓発を行い、がん検診受診への意識向上に取り組んだ。

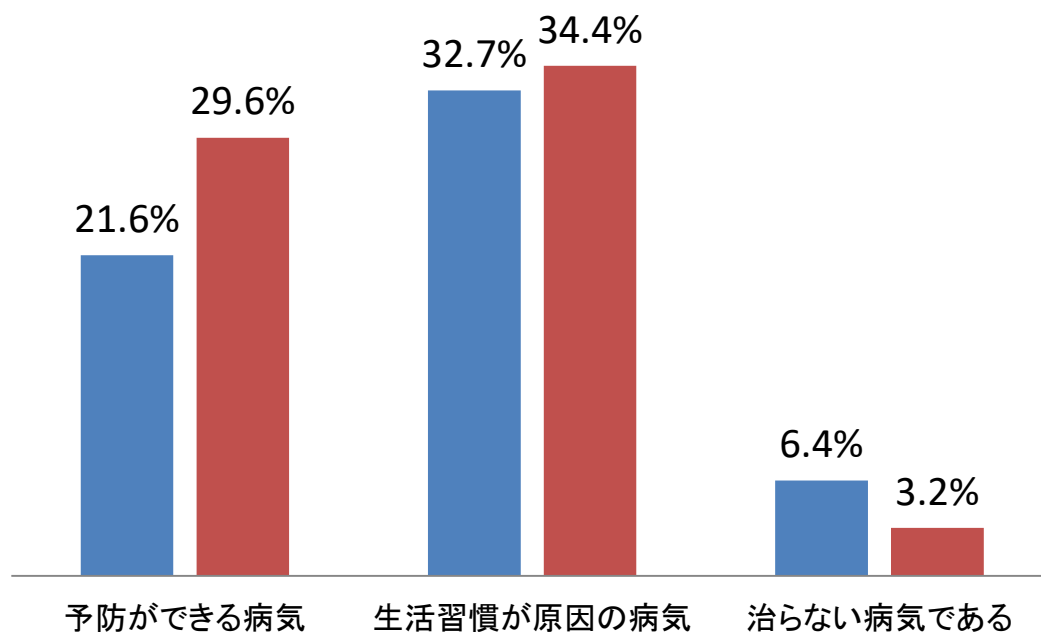
先行取り組みの成果

啓発時のアンケート結果による評価

- 健康教育前後でアンケートを実施（結果の一部）

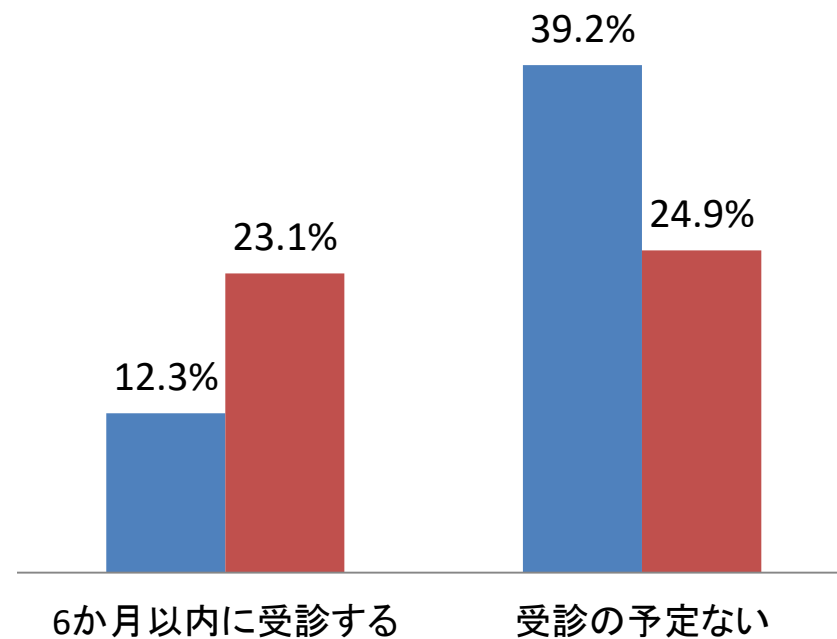
予防意識の変化

■ 講義前 ■ 講義後



検診の動機付けとなるか

■ 講義前 ■ 講義後



市と拠点病院や関係団体が連携することによって、啓発内容の充実が図れた結果、受講者の予防意識向上と検診受診の動機付け効果がみられた。

先行取り組みの成果

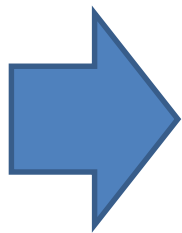
がん検診受診勧奨の実績

がん診療拠点病院が存在する3区（中、西、北）の小学校区に、受診勧奨（ハガキ送付及び電話勧奨）を実施。

○受診勧奨方法

平成28年12月から勧奨ハガキの送付と電話による勧奨を実施

受診勧奨対象
者の抽出



12月勧奨
はがき送付



受診状況把握し、
保健センターから
の電話などによる
勧奨開始

○勧奨対象者は、以下の条件すべてを満たしている者

ア 国民健康保険に加入している年齢が46歳から69歳の者

イ 平成27年度に「大腸がん」を受診したが、平成23年度から平成27年度の「肺がん」受診歴のない者

肺がん検診受診状況【H29.9現在】

	対象地区の勧奨対象者 （ア、イの条件の者）			対象地区の勧奨対象者以外 （アのみの条件の者）		
	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
計	363	61	16.8	5,371	288	5.4

肺がん検診の受診について、ハガキと電話による勧奨を実施した結果、直接的に勧奨を行っていない者と比較し、受診率が11.4ポイント増加し、効果的な取り組みとなった。

先行取り組みの成果

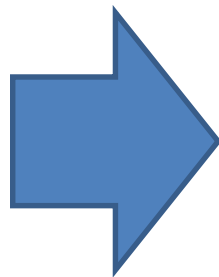
がん検診受診率の実績について

平成27年度

平成28年度

【市全体の全年齢受診率】

種別	堺市
胃がん	3.6%
肺がん	3.8%
大腸がん	14.2%
子宮がん	23.4%
乳がん	17.9%



種別	堺市	上昇率
胃がん	4.7%	1.1P↑
肺がん	4.6%	0.8P↑
大腸がん	12.2%	2.0P↓
子宮がん	23.6%	0.2P↑
乳がん	18.8%	0.9P↑

平成28年10月から胃がん内視鏡検査の導入、胃・肺がん検診の医療機関での検診を開始等の検診実施体制強化の効果もあり、受診率が向上。

3 平成29年度以降の取組み状況について

がん検診啓発強化と受診率向上戦略

強化されたそれぞれの事業により
受診率向上を加速

啓発の強化

受診体制の強化

個別勧奨の強化

国の平均
受診率
(69歳以下)
19.8%
以上へ

平成29年度	導入による効果		
【H29.4～】 ・ <u>若年者へ乳がんの自己検診法の啓発を強化</u>	 自己検診法の周知強化による乳がん早期発見の推進	強化された事業を継続し、国の平均受診率を上回り、平成30年度以降は政令指定都市トップクラスの受診率を達成する	
【H29.6～】 ・ <u>がん検診総合相談センターの開設</u> ・ <u>集団検診の予約窓口を統一</u> ・ <u>前立腺がん検査の開始</u>			 検診案内や予約の利便性の向上による受診率の増加
【H29.8～】 ・ <u>ターゲットを絞った効果的なコールリコールを実施</u> ・ <u>検診制度案内のデザインを一新</u>			 効果的な勧奨が実現するとともに、前立腺がん検査の導入による他のがん検診への誘因効果により受診率が向上
がん検診全体の受診率(69歳以下)予測 平成29年度 18.8%			平成30年度 20.0%以上を実現

がん検診啓発強化と受診率向上戦略

啓発計画(平成29年度)

啓発の内容	啓発の手段	啓発時期	啓発の対象
がん検診制度の 周知、勧奨	広報さかいへの折込	6月	全世帯
	個別勧奨通知の送付	6月から毎月 送付	20、30、40、50、60、65歳 及び不定期受診者
	がん検診総合相談セン ターでの勧奨	8月から開始	個別通知を行った不定期受診 者
がんに関する知識 普及、予防啓発	講座、講演等を地域へ 出向き実施	従来からの取 り組みを強化 し実施中	市民(保健センター、自治会、 医療機関、企業)
	小、中学校での啓発	4月から出前 講座開始	生徒、PTA、教員
	乳がん自己検診法の啓 発強化(乳幼児健診など の機会に実施)	平成28年11 月から実施中	20歳から39歳を中心とした 女性

がん検診総合相談センターの取り組み実績

平成28年10月からの受診率向上に効果があった取り組みを堺市全域に広げ、がん検診受診率の向上に向けた以下の取り組みを実施。

経過

平成29年6月1日 電話問い合わせ窓口設置

28日 WEBサイト開設(医療機関検索、集団検診予約可)

8月25日 ①受診勧奨ハガキ送付(健康医療推進課から7,723通)

30日 ①電話勧奨開始

11月13日 ②受診勧奨ハガキ送付(健康医療推進課から6,148通)

15日 ②電話勧奨開始

実績H30.1末現在

受電件数:
4,772件

架電件数
(延べ): 21,824件

ハガキと電話による受診勧奨の実施及び状況

対象者

大腸がん検診を定期的に受診できていない者(過去5年間(平成24年度～平成28年度の間)で大腸がん検診を1回以上4回以下の受診)のうち、国民健康保険に加入している46～69歳の者(平成30年3月31日現在)

実施時期と方法【8月、11月、1月に実施】

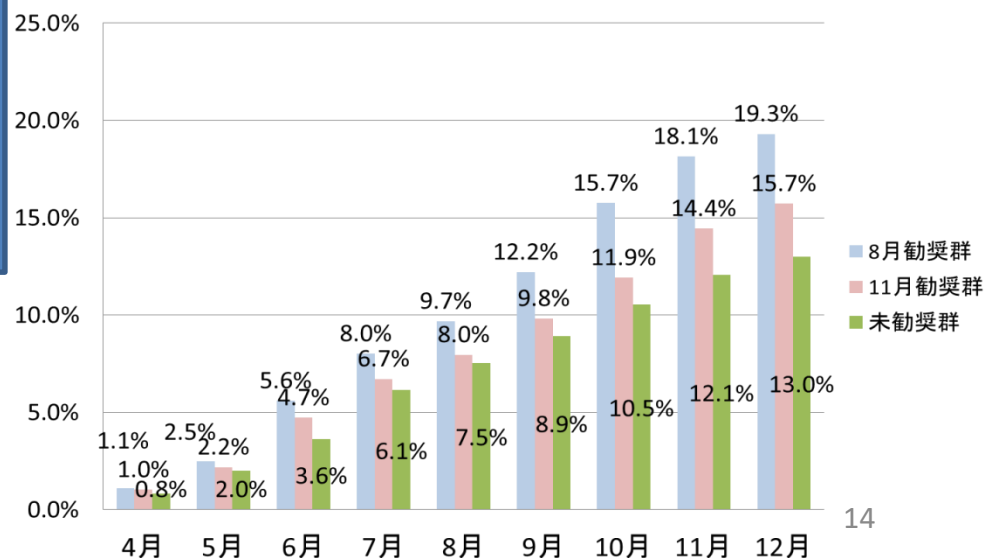
①ハガキの送付

数日後

②電話による勧奨

ハガキと電話勧奨の組み合わせによる
効果分析(H30.2.15現在)

大腸がん検診受診率の推移



今後の予定（平成30年以降）

- がんの早期発見を促進するため、「受診促進強化期間（～平成31年度）」を設け、この期間については、胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診の自己負担金を無料に
- 女性のがん検診の充実を図るため、堺市が実施する乳がん検診を受診し、高濃度乳房と判定された40歳代の女性に対し、乳房超音波検査を実施
- がん検診総合相談センターからの電話勧奨の強化、医療機関やがん患者会などとの連携による受診啓発の強化を図る